

北海道ヒグマ管理計画 平成30年度事業実施計画

○:実施済み(H29) 実施予定(H30) △:取組中 ▲:取組んだが成果なし ×:未実施 -:該当しないもの

項目	実施主体	実施年度					事業内容
		H29	H30	H31	H32	H33	
1	人身被害防止・人里への出没抑制・農業被害の軽減の方策						
人身被害防止・人里への出没抑制・農業被害の軽減の方策	(1) 問題個体を発生させないための取組						
	ア 人身被害の防止						
	(ア) 山野における防除対策						
	◇道民に対する注意喚起						
	・パンフレット等による普及啓発	道・市町村	○	○			・ホームセンター176店舗に配布(18,200部) ・各種ビジターセンター等にポスターの掲示依頼
	・出没情報の提供	市町村	△	△			市町村の出没情報WEBを道HPIにリンクして掲載(59市町村)
	・注意特別期間の設置による注意喚起	道	○	○			春・秋の年2回、注意喚起期間を設定
	◇山林作業員に対する注意喚起						
	・冬期間の出没情報収集・情報共有	道	○	○			市町村から情報収集し、関係機関に情報提供。 現在取組中(情報収集期間:H30.1.1~H30.3.15)
	(イ) 人里への出没対策						
	◇出没時の対応方針策定	道	△	-			年度内策定予定
	・出没時における関係機関の連携	道・市町村・警察	▲	○			
	◇誘引物になる廃棄物等の適正管理の普及啓発	道・市町村・農協	▲	○			
	◇堅果類結実調査結果による注意喚起	道	○	○			ミズナラ~広範囲で不作~凶作 サルナシ・ヤマブドウ~一部地域で実なりが悪い傾向
	◇河畔林等の伐採等による移動経路の遮断	道・管理者	▲	○			
	(ウ) 人身被害が発生したときの対応						
	◇人身事故発生時の対応方針策定	道	△	-			年度内策定予定
	・二次被害防止対策	市町村	○	○			
	・事後調査の実施	道・道総研	○	○			現地調査等を実施【4/15(標茶町)、10/24(斜里町)、 10/26~10/27(白糠町・弟子屈町)】
	・事故状況の検証・公表	検討会・道	△	○			対応方針策定後、速やかに公表
	イ 農業被害の防止						
	(ア) 電気柵の導入促進						
	・設置促進に向けた普及啓発	道・市町村・農協	▲	△			
(イ) 農地周辺の刈り払い及び侵入経路の管理							
・農地等隣接地の刈り払いによる緩衝帯の設置促進	道・市町村・農協	▲	△				
・河畔林等の伐採等による移動経路の遮断	市町村・管理者	▲	△				
(ウ) 誘引物の適正管理の推進							
・規格外農作物等の適正管理の指導	道・市町村等	▲	△				
ウ 狩猟期間等の見直し							
・春季の狩猟期間導入検討	道	▲	△			・現行法で延長最大期限の4月15日までの導入を検討 ・延長期間は法第12条の捕獲等の数の制限の導入検討 ・穴狩りを禁止すべき猟法として検討	

	(2) 出没個体の有害性に応じた対応								
	ア 有害性の段階判断								
	◇出没時の対応方針策定(再掲)	道	△	—					年度内策定予定
	・有害性の段階判断実施	市町村等	○	○					
	イ 有害性の段階に応じた対応	市町村等	○	○					
	ウ 問題個体の排除、行動改善		△	△					
	(3) 問題個体数の動向把握	道、道総研	△	△					現在、取りまとめ中
2	地域個体群存続の方策								
	(1) 調査研究とモニタリング								
	ア 個体数指数の動向調査								
	・捕獲個体試料の分析	道総研	○	○					
	・ヘア・トラップによる生息密度推定	道・道総研	×	×					(H25～26実施)
	・広域痕跡調査による指標の収集	道・道総研・協力機関	△	○					現在、取組み中
	・捕獲情報の収集	道・道総研	△	○					現在、取組み中
	・アンケート調査による動向の把握等	道	×	×					(H24 狩猟者を対象としたアンケート調査実施)
	イ 捕獲個体分析調査								
	・繁殖状況、栄養状況の把握	道総研	○	○					
	ウ 問題個体の動向調査								
	・被害状況の把握	市町村・道	△	○					現在、取組み中
	・問題個体の特定	市町村・道・道総研	△	△					現在、取組み中
	・被害防除効果の検証等	市町村・道・道総研	△	△					現在、取組み中
	エ 生息環境調査								
	・生物資源の分布と生産量	道・道総研	×	×					・未実施
	・堅果類結実状況の把握	道・道総研・協力機関	○	○					・ミズナラ、ブナ、サルナシ、ヤマブドウの実なり調査
	・植生環境等の把握	道・道総研	×	×					・未実施
	オ 分布調査								
	アンケート調査等による分布の把握	道・道総研	×	×					再掲(H24 狩猟者を対象としたアンケート調査実施)
	カ 地域社会の意識調査								
	アンケート調査等による住民意識の把握	道	×	×					(H28 道民意識調査実施)
	(2) 総捕獲数管理								
	ア 地域別の管理水準の決定								
	・管理水準に応じた管理措置	道・検討会	△	○					・保護管理検討会の意見を聞いて毎年決定
	イ 許可捕獲における取扱								
	◇ヒグマ捕獲許可取扱方針策定	道	△	—					年度内策定予定
	・捕獲許可取扱方針の運用	振興局	×	○					
	ウ 狩猟捕獲による取扱								
	・狩猟による捕獲禁止措置等の検討	道	△	△					
	(3) 生息環境管理								
	・生息環境の保全	道・市町村	△	△					・生息環境で課題となる事例なし
	・ヒグマ侵入経路の遮断検討	・森林所有者等							・侵入経路等については、検証できていない。

地域個体群存続の方策

3 その他	(1) 計画の実施体制								
	ア	地域協議会							
		・地域協議会(振興局単位)の開催	道(振興局)	○	○				・各振興局で開催
		・地域対策協議会(数市町村単位)の設置検討		▲	○				・檜山振興局管内でのモデル実施検討
				△	○				・石狩・胆振管内での意見交換会開催
		イ	北海道ヒグマ保護管理検討会						
		・北海道ヒグマ保護管理検討会の開催	道	△	○				・1回(本日開催)
		ウ	体制構築に向けた取組						
		(ア)	保護管理を担う人材の育成及び組織運営						
		・振興局、市町村担当職員へのヒグマ対応研修	道	×	△				(H27～28実施)
		・振興局職員への野生動物対応研修	道	○	○				・エゾシカ対策研修実施 環境部局新任基礎研修の実施
		(イ)	捕獲技術者の育成						
		・ヒグマ対策技術者育成のための捕獲の実施	道・市町村・猟友会	○	○				・H29年 29市町村で実施(オス3頭、メス2頭捕獲)
		(ウ)	狩猟者の確保						
		・出前教室の開催	道	○	○				・H28 9回開催199名 ・H29 実施中
		・狩猟フォーラムの開催	環境省・道	×	×				(H24～26実施)
		(エ)	教育機関等との連携						
		・大学等の教育機関との連携	道・教育機関	×	△				・H29未実施
		(2)	狩猟資源の有効活用						
		ア	狩猟資源としての活用						
		・地域の狩猟資源としての活用検討	道・道総研	×	×				・H29未検討
		イ	捕獲個体及び部位等の活用						
		・熊胆等の適正流通のルール化検討	道総研・道	×	△				・H29未検討
		(3)	計画の点検・見直し						
	ア	事業実施計画の策定							
	・実施計画の策定	道	△	○				年度内策定予定	
	・実施結果の検証	道	△	○				実施結果の検証	
	イ	計画の見直し							
	・ヒグマ管理計画の見直し検討	道	△	△				※必要に応じて見直し検討	